

平成 25 年度 第 2 回社会教育委員会議 議事録

発言者	発言内容
事務局	本日はご多用の中、お集まりいただきありがとうございます。それでは、時間になりましたので、社会教育委員会会議を開催します。最初に、本協議会は、「山陽小野田市執行機関の附属機関における審議会等」に属しますので、「会議の公開に関する要綱」により、議事録を市ホームページで公表させていただきますことをご了承ください。また、要項に載せております「本委員会規則」にありますように、本日は委員の過半数の方にご出席いただいておりますので、本会議が成立しますことをお伝えしておきます。
事務局	続きまして、江澤教育長よりご挨拶申し上げます。
教育長	(教育長挨拶) ・社会という大きな枠組みの中で行われる社会教育の重要性 ・社会教育委員としての研修の大切さ 等に触れながら挨拶。
事務局	「それでは、吉本委員長にご挨拶をいただきたいと思います。吉本委員長お願いします。」
委員長	(委員長挨拶) ・目指す国民像(知・徳・体の調和がとれ、生涯にわたって自己実現を目指す自立した人間、公共の精神を尊び、国家・社会の形成に主体的に参画する国民、伝統と文化を基盤として国際社会を生きる日本人) ・主体的に参画し、自立した人間育成をめざすこと 等に触れながら挨拶。
事務局	ありがとうございました。では前回ご都合により欠席されていた委員さんに自己紹介をお願いしたいと思います。
委員	(委員 2 名あいさつ)
事務局	ありがとうございました。それでは、以降の議事は会議規則にのっとり、会議の議長は委員長にお願いしたいと思います。では、吉本委員長お願いします。
委員長	それでは早速ですが、議事に移りたいと思います。議題(1)について事務局から説明をお願いします。
教育長	(「諮問内容について」説明および審議、提言に関する依頼)
委員長	続きまして、(2)意見交換について、事務局から説明をお願いします。

事務局	(グループ別協議の実施方法について事務局から説明)
	(グループ別協議 約1時間)
Aグループ 委員代表	<p>(Aグループの協議結果を報告)</p> <p>活力あるコミュニティづくりということで、最初に出たのは、やっぱりいろいろな「場づくり」が必要だろうということでした。日常的に、例えば高齢者が集えるような、そういった場を作っていくとか、いろいろな場があるといい。このほか「ありがとう」といつてもらえる場であったりとか、きっかけづくりになるような場であったりとか、そういう場作りというのが要るのではないかなということ。いろんな話をする中で共通で出てきたのは、やっぱり「つながり」を大切にすることだとか、声かけ運動をしようとか、ありがとう運動だとか、仲間づくりだとか、そんなことが共通で出てきたことです。地域を巻き込んでということでは、ひとつは防災の課題の中で出てきたことですが、避難訓練するにしても各学校だけとか、この地区だけ、とかではなくて、やっぱり地域で巻き込んで、大きな組織の中で避難訓練をするということもいいたろうとか、またそのためにはリーダーがいるねという話もありました。それからやっぱり、家庭の問題があって、お父さんやお母さんが自慢できる、そういう家庭であったり、お父さんやお母さんが尊敬のできる家庭をつくっていかないといけないのではないかなということですよ。これは家庭教育だけど、これを家庭教育だけに投げるわけにはいかないの、やっぱり社会教育がそこにかかわっていくということですが、その中で例えば、食育を進めることで、感謝の気持ちだとか、あるいは家庭の中でのしつけの大切さをこっちのサイドから訴えかける。そういったことも考えられるのではないかな。それから、地域が「自慢できる地域」であったりとか、地域を愛する心を育てることであったりとか、「地域力」を高めるには心を育てていかなければいけないし、地域で自慢できるようなものを増やしていかなければいけないのではないかな、ということがありました。意見はいろいろありましたが、その核として、公民館をいかに活用するか、媒介として、やはり、誰か言い出す人がいないとなかなか物事はできないので、例えば今、学校で地域協育ネットってありますけど、学校がこういうことを望んでいる、そしてコーディネーターさんがいて、じゃあ地域からこういう人を連れてきてあげる。そこがうまくマッチしたら、いろんなことがうまく進んでいくというのがあるので、そういったところの、核になる、つなぎ役になる所として、公民館をいかに活用するかということはあるんじゃないかなということでした。それから、できるだけたくさんの方が、年齢差を超えて、年をとった方、若い方、そういう方々が集える場が必要だし、ただ中々時間がそろわないので、この時間をどう設定するかということもひとつの課題だろうかなということが出ました。</p>

Bグループ
委員代表

(Bグループの協議結果を報告)

B班ですが、こちらでやはり一番大きく出てきたのが、こちらの近隣住民の希薄化というグループ分けをしましたが、地域の連携が十分にできていないのと、個人主義的な部分が多いという課題がここのところですよ（図を示しながら）。そしてその課題として、地域連携の希薄さがあるとか、住民間の連帯の希薄さというところで、地域がばらばらになっている。中々まとまらないというところが、どうしても希薄化ということにつながっているのではないかと、という課題として挙がってきました。で、その対策というかアイデアとしては、行事的なところが出ておりました。集う場があるとか、いろいろな人達がつながりあえるようなというのが出ていまして、「顔の見えるイベント」というのをやってみたらどうかという提案をさせていただきました。集まってみんなで何かをするというのは、どこの地域でもやっておられるんですけど、名前と顔がわかるのは役員同士であったりするんですけど、一般の方が来られて、みんなの顔がわからないと、結局何か楽しくないというか、ただ楽しんで帰るだけというイベントもあるんですけど、もう少し工夫をして、どここの誰々さんというのが分かるイベントがあると、もう少し連帯感が出てくるのかなというところで、そういうアイデアを出させてもらいました。で、一部つながっているんですけど、この希薄さのところからこの「つながり」というところのキーワード、コミュニケーションが薄れているところも出ていましたので、その辺りも希薄さの中にくくらせていただきました。で、やっぱりプライバシーというものが邪魔をして、中々こう互いが打ち解けられないということもありますし、コミュニケーション力というものが、会話をして中々互いが打ち解けられないというところで、逆にこう閉じこもってしまうというところもあるのかなということで、こういったコミュニケーション、つながりをもう少し、強化していくということも考えられるのかな。そして先ほども出ました家庭教育力というのは、やっぱり家庭教育、学校教育、社会教育と考えた場合、一番基本になるはずの家庭教育力が落ちている、PTAの立場で見てもわかるんですけど、役員する人はいいのですけれども役員しない人が家庭教育力がない場合があって、それが悩んでいるけど、中々相談できないというところもありますので、そういう相談ができる場所もしっかりあった方がいいんじゃないかということで、頑張っている親御さんもいるんですけど、その頑張っているところをもう少し、オープンに出せるようにする場もあっていいんじゃないかという対策も意見として出ました。で、年齢層の偏りというくくりでは、少子高齢化というところと若い人が中々地域に参加しないというところで、どうしてもその地域で活動しているのは高齢の人が中心になっているということで、もう少し若い人が出てくることによって、次の世代を担う若い人達がどんどん地域で活躍できるような、そういったことも工夫したらどうかというところで、役員をしたくなるような環境づくりであるとか、今までの「こうだから」というような伝統だけを押し付けるのではなくて、今の時代にあったものと融合させて、新しいものを作って行って、若い人が参加できるようにす

	るとか、ボランティア活動とか、そういったところでの活動、活用をしたかどうかという意見が出ました。
事務局	<p>ありがとうございました。では、今後のことを先にお伝えしておきます。皆様からいただいたご意見を、今後事務局側が整理をしまして、次回までにある程度の方向性を出していきたいと考えております。まとめた物を事前に送付しまして、またそれをもって、3回目の会議でまたご意見いただけたらと思います。次回の会議は3月末を予定しております。またご案内をお送りいたしますので、またよろしく申し上げます。</p> <p>それでは、研修の報告について、ここでお聞きしたいと思います。お願いいたします。</p>
副委員長	(報告書をもとに中国・四国地区社会教育研究大会の報告)
委員長	では、最後に課長、挨拶をお願いします
社会教育 課長挨拶	<p>(課長挨拶)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップでの積極的な姿勢やそれぞれの立場から意見をいただけたことへの感謝 ・今後の提言に向けての互いの協力 ・研修報告への感謝 ・教育委員長からの資料をもとに、「共有するもの」「共有することが地域のつながりを生むのではないか」といった話 <p>等を交えながら挨拶。</p>
委員長	以上で、議事は終了しました。議事の進行にご協力いただき、ありがとうございました。本日の会議は以上で終了します。ありがとうございました。